

平成24年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（秋季）

憲法

注意 解答用紙は問題ごとに別のものを用いること。解答の冒頭に、いずれの問いに対する解答であるかがわかるように、大きくはっきりと、**1**、**2**と記すこと。

【問1】

Xは、A新聞社の記者であり、ある条約に関する取材を行っていた。たまたま知り合った外務審議官付女性秘書官Zと恋愛関係となり、その関係を利用してZに条約関係の文書を持ち出してもらった。

国家公務員法上、公務員が職務上知りえた秘密を漏らすことは禁じられており、また公務員にそのような行為をそそのかす行為も犯罪とされている（国家公務員法111条、109条12号）。Xはこの罪を犯したとして起訴された。

Xは処罰されるべきか。さまざまな法的理論構成の可能性を検討しながら論ぜよ。

【問2】

いわゆる「実体的デュー・プロセス」論について、それが主張された背景にも触れながら、論じなさい。